

平成30年度

学校関係者評価報告書

平成31年3月

山梨県立宝石美術専門学校

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長及び保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価の結果に関する評価を行い、多くの貴重なご意見やご指導をいただきました。

今後とも、学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、本校教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでく所存です。

## 1 学校関係者評価委員名

百瀬 文一郎 氏	山梨県水晶宝飾協同組合副理事長
清水 幸雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員長
沼田 章仁 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (ジュエリー部会)
深澤 陽一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (宝石研磨部会)
深澤 利彦 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (貴金属工芸部会)
長岡 良雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会 委員 (美術彫刻部会)
滝田 和彦 氏	山梨県水晶宝飾協同組合専務理事
越石 寛 氏	甲府商工会議所 事務局長
永田 典弘 氏	山梨県立甲府城西高等学校 校長
今井 正浩 氏	保護者 (後援会会長)
古屋 万恵 氏	山梨県産業労働部地域産業振興課 課長

## 2 学校関係者評価委員会の開催

第1回開催日 平成31年2月12日 (火)

第2回開催日 平成31年3月15日 (金)

### 3 実施方法及び公表

学校関係者評価委員会では、学校が実施した「自己評価」の結果及び外部アンケートについて事務局より説明し、ご意見をいただきました。

また、委員には、評価項目ごとに次の4段階で評価をいただき、平均値を記載いたしました。

・適切：4　・ほぼ適切：3　・やや不適切：2　・不適切：1

なお、評価の観点には次の項目によるものとししました。

- ・自己評価の内容が適切か
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策などが適切か
- ・学校の重点目標や具体的方策などが適切か
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

本報告書は、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、本校教育水準の向上に努めて参ります。

また、ホームページに公表します。

### 4 学校関係評価委員の意見・提案等

#### (1) 教育理念等

評価平均：3.1

評 価 項 目
① 本校教育の特色は明らかか
② 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
③ 教育理念・校訓・教育方針などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか
④ 育成する人材は、社会情勢や業界のニーズを踏まえているか
⑤ 教育理念・校訓・教育方針などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか
⑥ 学則・諸規程等は、十分に整備されているか

#### 【意見・提案】

- 人材育成を目的とする専門学校であるため、社会情勢や業界のニーズに応える教育内容や将来構想が大切である。まずは、ニーズ調査を行い、その結果を踏まえてどのような将来構想にするか決めて、それを説明する必要がある。
- 県内外の宝飾業界と連携をとり、業界に合った学生の育成を教育理念に取り入れて欲しい。
- 教育理念、校訓、教育方針は、学校案内とリンクしているか、学校教育の特色は説明できるか、

など年に1度は教職員で確認することが必要であり、そうしたことが将来構想となり、現在不足していることがあぶり出されてくると思う。将来構想をまとめて欲しい。

## (2) 学校運営

評価平均：2.4

評 価 項 目
① 教育理念等に沿った運営方針や事業計画が策定されているか
② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか
③ 教務に関し、組織整備など意思決定システムは整備されているか
④ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
⑤ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
⑥ 情報のネットワーク化等による業務の効率化が図られているか

### 【意見・提案】

- 自己評価結果が全て2点台。学校を運営する上で支障になっていることは、組織として職員の共通理解が図られていないことにあると思う。共通理解が図られていない理由を具体的に挙げて、その対応をすることが大切ではないか。
- 学校運営は、一つの項目に的を絞り評価を上げていった方が良いと思う。
- 授業内容充実の検討が必要である。
- 民間の専門学校のノウハウを参考にして、県内の宝飾業界が望む人材の育成に向けて、カリキュラムなどを含めてもう少し工夫して欲しい。
- 教職員の研修を実施し、レベルアップを図って欲しい。教員もいろいろなコンテストに出品し、製作過程を学生に見せることも必要である。
- 効率的な意思決定システムと合わせて、意見集約システムを早急に考える時期に来ていると思う。

評 価 項 目
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
② 教育理念、教育方針や業界ニーズを踏まえた教育到達レベルのための学習時間の確保は明確にされているか
③ カリキュラムは体系的に編成されているか
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか
⑤ 業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
⑥ 実践的な教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか
⑧ 外部関係者からの評価を取り入れているか
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
⑩ ジュエリーコーディネーター試験、技能検定、技能五輪出場等のための指導体制について、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか
⑪ 目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
⑫ 業界団体等との連携において優れた外部講師を確保するなどのマネジメントは行われているか
⑬ 先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
⑭ 教員の能力開発のための研修等が行われているか
⑮ 産地の一流職人を活用するなど、地域性を考慮し特色ある教育に努めているか
⑯ 3年次の分野を選択して専門に特化する授業形態は、効果を発揮しているか
⑰ 専門知識や技術の習得に加え、高い人間力や幅広い対応力を備えた人材育成に取り組んでいるか
⑱ グローバル化の進展に伴い、国際対応力の強化に取り組んでいるか

## 【意見・提案】

- 教員の知識や技術・技能、指導力の向上が課題と感じた。教員には産業技術短期大学校との交流や行政研修への参加も必要ですが、専門性を高める研修に参加することが一番必要なことだと思う。このことが、社会情勢を理解して、業界のニーズに応えることになる。
- 教員の能力開発、指導力育成に力を入れて欲しい。
- 目標を明確にした授業方針が必要である。
- 3年制になったので、しっかり学習時間を増やし、専門知識・技術の高度化に対応して欲しい。
- 教員自身の技術面でのスキルアップをどの様にされていくのか。学生に対し、教員自らが示し模範となるもとも必要である。

#### (4) 学習成果

評価平均：3.0

評 価 項 目
① 関係業界への就職率の向上が図られているか
② ジュエリーコーディネーター試験、技能検定等の合格率の向上が図られているか
③ 退学率の低減が図られているか
④ 留年者数の低減が図られているか
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

#### 【意見・提案】

- 卒業後のキャリア形成として、プレゼンテーション能力を高めるために、インターンシップや卒業課題研究の発表会を実施してはどうでしょうか。展示会ではなく、学生が自分の言葉で発表する機会を設けることで、宝石美術の様子を高校生や企業へ伝えることもできるのではないのでしょうか。
- 学習成果は、入学時に目標を決めて学習を進めて行くことにより、成果が見えると思う。
- 1期生の宝石の四季編集長が活躍されているなど、業界内で活躍している卒業生の把握は可能と思う。

#### (5) 学生支援

評価平均：2.9

評 価 項 目
① 学生就職（進路）に関する支援体制は整備されているか
② 学生相談に関する体制は整備されているか
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか
⑦ 学生への情報提供は、十分に行われているか
⑧ 卒業生への支援体制はあるか
⑨ 企業等のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
⑩ 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか
⑪ 保護者と適切に連携しているか

【意見・提案】

- 専門学校生して、学生がもっと楽しめる取り組みがあっても良いと思う。
- 卒業生の把握をしていく中で、必要な支援が明らかになると思う。
- 高度技術専門コースは、必ず前年度の講座を検証し、次年度の組み立てをする必要がある。また、女性の就業者も増えているので、夜間設定で良いのかも含めて、幅広い議論を毎年行うことを望む。

(6) 教育環境

評価平均：3.1

評 価 項 目
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
② 学内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
③ 学生が自主的に学習するための環境が整備されているか
④ 防災に対する体制は整備されているか
⑤ 図書室（書庫）の蔵書は、学生が活用するのに十分整備されているか

【意見・提案】

- カリキュラムに余裕があるような話も聞いているが、学生が主体的に学習できるよう課外での施設利用を検討する必要がある。
- 学生が自主的に学習する環境整備を行って欲しい。
- 学生の自主学習のための学校施設の使用を最大限支援して欲しい。また、教員が残り、自主学習を支援することも必要である。
- 学生の学習への意欲ある声が高まっていることから、施設管理や職員の勤務態勢など制約も大きいと思うが、議論は必要と考える。

(7) 学生の受入れ募集

評価平均 : 2.9

評 価 項 目
① 高等学校等に対する情報提供等の取り組みが行われているか ② 学生募集活動は、適正に行われているか ③ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか ④ 募集内容、募集期間など学生募集の周知は、十分に行われているか ⑤ オープンスクールの実施内容、実施回数などは、十分に行われているか ⑥ 県外高校等への募集活動は、十分に行われているか ⑦ 学校案内、学生募集要項の内容は、十分必要な情報を掲載しているか

【意見・提案】

- 学生発表会を実施してみてはどうか。集客目的で何かのイベントと一緒にすることも良いと思う。
- 県外高校への募集活動を積極的に行って欲しい。
- ジュエリーミュージアムでの実演等で来場した親子を見ていると、興味深く熱心に見たり、体験等をしていると感じるので、日本全国の高校へのアピールをもっと積極的に行っていくべきと感じる。
- 県外の高校などに出向いての説明会などを積極的に実施し、県外学生の募集にもう少し努力して欲しい。
- 学生の活躍がパネルで紹介されているが、ココリ 1 階に展示したり、SNSで発信するなど検討して欲しい。

(8) 法令等の遵守

評価平均 : 3.4

評 価 項 目
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ③ 学校評価の実施と問題点の改善を行っているか ④ 学校評価結果は公開しているか



【意見・提案】

- 年度始めに、指導重点目標や重点改善項目と、その具体的方策を示して、全職員で取り組む内容の「見える化」を図ってはどうか。
- アンケートにおいて卒業生の回収率が昨年より大幅に減少している。就職先の退職後の様子がわからないのか、今学校がどうなっているのか伝わってこないのか、対策が必要である。

(9) 社会貢献・地域貢献

評価平均：3.0

評 価 項 目
① ニーズを踏まえた夜間講座を積極的に実施しているか
② 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
③ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
④ 学校の立地条件を活用し、学校と地域とで連携した取り組みを行っているか
⑤ 交流スペースは積極的に活用されているか

【意見・提案】

- 「あいさつをする」等の年間・月間・週間の目標を立てて、社会人として必要な人間教育の推進を図ってはどうか。
- 夜間講座の充実と業界への周知が必要である。
- 中心商店街や行政・商工会議所などが行う事業に、学生の積極的な参加を促すとともに、参加しやすい環境も整備して欲しい。
- 学生に対し、宝飾業界の行う様々なイベント・セミナー等に積極的に参加するよう指導願いたい。また、ジュエリーミュージアムの実演工房に行き、職人の技を学んで欲しい。
- ジュエリーミュージアム自体が社会貢献、地域貢献の施設である。評価項目に入れる必要がある。